



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジー・テイスト
コード番号 2694 URL <http://www.g-taste.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 英雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 稲角 好宣

TEL 052-910-1729

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	13,065	△3.4	156	△51.9	156	△54.1	△105	—
28年3月期第2四半期	13,518	△1.1	326	△16.6	340	△10.3	284	△10.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △105百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 284百万円 (△10.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△0.55	—
28年3月期第2四半期	1.49	1.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	19,542	10,009	51.1
28年3月期	21,109	10,204	48.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 9,990百万円 28年3月期 10,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.50	0.50
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,700	△3.3	740	△17.2	780	△14.8	180	△67.3	0.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	197,051,738 株	28年3月期	197,051,738 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	5,709,666 株	28年3月期	5,709,566 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	191,342,138 株	28年3月期2Q	191,342,686 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しており、四半期レビュー報告書を本日付で受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.平成29年3月期の期末配当予想につきましては、事業環境の先行きが不透明であることから現時点では未定とし、業績等を総合勘案いたしました上で速やかに開示するものといたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
（4）追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
（継続企業の前提に関する注記）	10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策などを背景に、企業業績は緩やかな回復基調にあり、雇用・所得情勢も堅調に推移する中で個人消費に改善の兆しが見られたものの、一方で中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れするなど世界経済に弱さが見られ、円高傾向が続くなど、経済の不確実性の高まりが重石となって、個人消費マインドも足踏み状態を脱することができず、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、足元の円高トレンドに伴い原材料価格の高止まりは若干の緩和が見られたものの、天候不順による原材料価格の高騰に加え、人手不足や人件費高騰といった問題に直面しております。

また、世界経済の下振れや円高影響に伴う訪日客数の増勢鈍化によるインバウンド消費の減速懸念の他、2017年4月に予定されている消費税増税を前に、各社、軽減税率が適用される中食分野の商品開発や、専門店出店を加速する動きが見られ、顧客獲得競争の激化など、取り巻く環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような状況の中、当社グループでは、安心・安全でお客様にご満足頂ける商品提供への取り組み強化といたしまして、回転寿司業態の平禄寿司においては、毎月6日の平禄の日や季節限定メニューを月一で実施し、目玉商品となる真あじやびんちょうまぐろなどを2貫税別80円にて販売するなどのサービスを実施いたしました。また、一部店舗においてはタッチパネルの全席導入を行う等、お客様満足度の向上に努めてまいりました。居酒屋業態では、夏休みメニュー、秋穫祭メニューの導入を実施し来店客数の増加を目指してまいりました。中でも秋穫祭メニューでは、一部石巻直送の生サンマの販売などを実施し、好評を頂きました。焼肉業態では、国産牛食べ放題「肉匠坂井」が、当第2四半期連結会計期間末現在直営店8店舗、フランチャイズ店3店舗計11店舗と堅調に推移しており、引き続きお客様にご満足頂けるよう、定期的に季節メニューをご提供し、フランチャイズ展開を含め、事業拡大に努めてまいります。

教育事業では、学習塾事業での「夏期講習」の取り組みの強化や、英会話事業での「レベルアップ応援クーポン」、子供向けの「夏ゼミ」の販促を実施するなどし、顧客満足度の向上を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間においては、当期新規出店は4店舗（フードコート業態2店舗、焼肉業態2店舗）をオープンいたしました。その他、契約期間満了による閉店及び不採算店の閉店により10店舗を閉店し、一方でフランチャイジーなどからの店舗買取りによる純増1店舗となりました。教育事業については、新規に1校舎を開校いたしました結果、外食直営店舗368店舗、教育104校舎となりました。

以上のような施策を図ってまいりましたが、居酒屋業態や回転寿司業態を中心に苦戦を強いられたことにより、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高130億65百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益1億56百万円（前年同期比51.9%減）、経常利益1億56百万円（前年同期比54.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億5百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2億84百万円）となりました。

なお、外食事業以外の事業の重要性が乏しいため、セグメント情報ごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産額は、195億42百万円となり、前連結会計年度末と比較し、15億67百万円減少いたしました。主な要因は、関係会社短期借入金の返済等による現金及び預金の減少によるものであります。

負債総額は、95億32百万円となり、前連結会計年度末と比較し、13億71百万円減少いたしました。主な要因は、関係会社短期借入金及び社債の減少によるものであります。

純資産額は、100億9百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1億95百万円減少いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払いによる利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想に関しては、本日別途公表いたしました「第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ4,918千円増加しております。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,484,624	4,165,381
受取手形及び売掛金	386,381	354,056
商品及び製品	65,878	87,550
仕掛品	3,104	8,768
原材料及び貯蔵品	206,687	218,366
その他	1,093,399	1,067,803
貸倒引当金	△16,754	△30,957
流動資産合計	7,223,320	5,870,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,604,981	3,746,824
土地	4,385,382	4,387,047
その他（純額）	356,724	359,785
有形固定資産合計	8,347,088	8,493,657
無形固定資産		
のれん	82,072	69,262
その他	167,610	164,689
無形固定資産合計	249,683	233,952
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,174,855	4,068,599
その他	1,492,869	1,289,328
貸倒引当金	△378,531	△414,253
投資その他の資産合計	5,289,193	4,943,674
固定資産合計	13,885,966	13,671,284
資産合計	21,109,286	19,542,253
負債の部		
流動負債		
買掛金	774,920	677,977
短期借入金	250,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	299,596	291,263
1年内償還予定の社債	478,000	478,000
関係会社短期借入金	708,142	-
未払法人税等	65,800	33,094
引当金	52,760	20,861
資産除去債務	7,552	2,457
その他	2,179,952	2,051,274
流動負債合計	4,816,725	3,854,928
固定負債		
社債	1,742,000	1,503,000
新株予約権付社債	1,977,348	1,980,211
長期借入金	858,905	717,440
退職給付に係る負債	37,404	36,914
資産除去債務	838,313	831,509
その他	634,160	608,950
固定負債合計	6,088,131	5,678,026
負債合計	10,904,856	9,532,955

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	8,842,326	8,842,326
利益剰余金	2,066,510	1,865,097
自己株式	△817,353	△817,360
株主資本合計	10,191,483	9,990,063
その他の包括利益累計額		
その他の包括利益累計額合計	-	-
新株予約権	12,946	19,235
純資産合計	10,204,430	10,009,298
負債純資産合計	21,109,286	19,542,253

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	13,518,504	13,065,240
売上原価	4,858,913	4,672,860
売上総利益	8,659,591	8,392,380
販売費及び一般管理費	8,333,084	8,235,399
営業利益	326,506	156,981
営業外収益		
受取利息	4,635	4,471
受取配当金	465	488
業務受託料	33,761	34,067
受取補償金	37,400	4,957
受取解約金	300	35,082
その他	17,705	25,898
営業外収益合計	94,268	104,966
営業外費用		
支払利息	16,250	13,806
貸倒引当金繰入額	-	43,315
支払手数料	42,802	30,001
その他	21,004	18,389
営業外費用合計	80,057	105,513
経常利益	340,717	156,434
特別利益		
固定資産売却益	499	-
特別利益合計	499	-
特別損失		
固定資産売却損	449	57
固定資産除却損	15,386	9,217
店舗閉鎖損失	20,065	24,181
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	3,180
減損損失	8,573	13,434
特別損失合計	44,475	50,071
税金等調整前四半期純利益	296,741	106,363
法人税、住民税及び事業税	29,091	33,516
法人税等調整額	△16,551	178,587
法人税等合計	12,540	212,104
四半期純利益又は四半期純損失(△)	284,201	△105,741
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	284,201	△105,741

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	284,201	△105,741
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	284,201	△105,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	284,201	△105,741
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	296,741	106,363
減価償却費	260,737	252,904
のれん償却額	15,154	12,810
賞与引当金の増減額（△は減少）	△21,274	△30,522
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△6,652	49,924
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△2,055	△489
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	-	△1,377
受取利息及び受取配当金	△5,101	△4,960
店舗閉鎖損失	20,065	24,181
減損損失	8,573	13,434
支払利息及び社債利息	16,250	13,806
固定資産除売却損益（△は益）	15,336	9,274
売上債権の増減額（△は増加）	92,712	59,274
たな卸資産の増減額（△は増加）	△9,903	△39,014
仕入債務の増減額（△は減少）	△92,397	△96,943
未払消費税等の増減額（△は減少）	△198,170	△26,062
未収消費税等の増減額（△は増加）	5,959	8,118
その他	△32,864	△116,222
小計	363,112	234,500
利息及び配当金の受取額	2,777	3,030
利息の支払額	△13,593	△11,153
法人税等の支払額	△41,524	△66,223
営業活動によるキャッシュ・フロー	310,772	160,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△457,310	△365,295
有形固定資産の売却による収入	35,500	1,051
資産除去債務の履行による支出	△4,865	△21,212
投資有価証券の取得による支出	△10,000	-
非連結子会社株式の取得による支出	-	△34,500
敷金及び保証金の差入による支出	△27,331	△37,379
敷金及び保証金の回収による収入	55,853	45,548
貸付けによる支出	△71,824	△500
貸付金の回収による収入	4,495	65,386
その他	△118,904	△1,626
投資活動によるキャッシュ・フロー	△594,387	△348,527
財務活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社短期借入金の純増減額（△は減少）	△213,357	△708,142
短期借入金の純増減額（△は減少）	△100,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△50,000	△149,798
社債の償還による支出	△190,000	△239,000
リース債務の返済による支出	△3,477	△1,355
自己株式の取得による支出	△57	△7
配当金の支払額	△81,433	△81,947
財務活動によるキャッシュ・フロー	△638,325	△1,130,250

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△349	△619
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△922,289	△1,319,243
現金及び現金同等物の期首残高	4,036,046	5,384,624
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,113,756	4,065,381

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。